

# 木材利用革新的技術開発促進事業の概要

## 1. 趣旨

地球環境の保全に対する関心が高まる中で、木材を取り巻く状況も環境の保全や炭素固定機能の高度発揮に対する要請が高まっており、木くず等廃棄物発生抑制と再利用の推進並びに木材の長期利用への取り組みが急務となっている。

中小企業が主体の木材産業においてもこのような状況に対するため、木材の有効利用や木材利用の高度化を図るための革新的な技術開発を推進することとして、平成13年度までは、当センターと当該企業が委託契約を締結して実施してきたが、平成14年度は林野庁から当該企業等に直接補助を行って技術開発を行ったものである。

## 2. 事業の目的

木材産業の環境問題への取り組みを促進するため、木くず等廃棄物の発生抑制と再利用や木材の長期利用のための品質向上に関する技術等木材利用に関する革新的な新技術、新製品の開発に関する取り組みを促進し、環境と調和した木材産業の創出、発展を目的とする。

## 3. 事業の内容

- (1) 民間企業等から木質廃棄物の発生抑制・再利用を含めた木材利用推進に係る革新的な新技術・新製品の技術開発の課題を公募。
- (2) 採択課題の選考、評価等のため、外部の学識経験者からなる評価委員会を設置。
- (3) 木材産業から見た重要性、創造性・新規性・先進性、計画の達成の可能性等について評価を行い、応募総数31件の中から3課題を選定し、当該企業に林野庁から補助金交付。
- (4) 各技術開発の実施状況の確認及び技術指導等のため、評価委員会による現地における中間評価を行うとともに、最終成果の評価を実施。
- (5) 技術開発終了後、一般の技術開発の促進のため、成果報告会を開催して技術開発の成果を公表。

### ◆ 開発の課題 ◆

- ・ スギ間伐材を用いた湾曲集成材の製造とこれを用いた耐力壁体の開発  
(九十産業株式会社 宮崎県)
- ・ 未利用低質木質資源の連続圧密成形による高機能・高付加価値化技術の開発  
(林ベニヤ産業株式会社 大阪府)
- ・ 緑化資材としての未利用木質資源の活用  
(株式会社 彩光 東京都)